

くすり一口メモ

服薬後の尿や便の色調変化

服薬によって尿や便の色調が変化することがあります。添付文書上では使用上の注意として記載されています。尿の色調変化の主な原因は、服用した薬剤や代謝物の着色によるものと、薬剤がアルカリ化した尿と反応することによって着色するものとに分けられます。便の色調変化の原因は、薬剤や代謝物の着色によるものと、腸管内での反応による着色が主なものです。添付文書に、尿と便の色調に変化を起こすことが明記されている薬剤をまとめました。

尿の色調に影響する薬剤

薬効	成分名	主な商品名	尿の色	原因
下剤	センナ, センノシド	アローゼン, プルゼニド	黄褐色～赤色	主成分アントラキノンとアルカリ尿との反応。
ビタミンB2剤	リボフラビン, FAD	ハイボン, フラビタン	黄色	色調がそのまま尿中に排泄。
糖尿病末梢神経障害治療薬	エパルレスタット	キネダック	黄褐色～赤色	本剤及び代謝物。
セフェム系抗生物質	セフジニル	セフゾン	赤色	原因不明。
サルファ剤	サラゾスルファピリジン	サラゾピリン	黄赤色(アルカリ尿にて)	尿がアルカリ性の場合のみ、着色。
鎮咳去痰薬	ヒベンズ酸チピベジン	アスペリン	赤色	本剤の代謝物。
カルバペネム系抗生物質	イミペナム/シラスタチン	チエナム注	赤褐色	本剤の代謝物。
	パニペナム/ベタミブロン	カルベニン注	茶色	本剤の代謝物。
血管強化・止血剤	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム	アドナ	橙黄色	原薬(橙黄色)の未変化体の排泄。
抗パーキンソン剤(サルファ剤)	レボドパ/ベンセラシド	マドパー	黒色	本剤の代謝物。
抗アンドロゲン剤	フルタミド	オダイン	琥珀色～黄緑色	本剤の代謝物。
血圧降下剤	メチルドパ	アルドメット	黒色(尿を放置すると)	本剤及び代謝物。
抗トリコモナス剤	メトロニダゾール	フラジール	暗赤色	腸内細菌と本剤との反応による化合物を形成。
抗結核薬	リファンピシン	リファジン	赤橙色	本剤及び代謝物。

便の色調に影響する薬剤

薬効	成分名	主な商品名	便の色調	原因
鉄剤	クエン酸第一鉄ナトリウム	フェロミア	黒	未吸収の鉄が腸管内で硫化鉄に変化。
	溶性ピロリン酸第二鉄	インクレミン	黒	
	クエン酸第一鉄	フェルム	黒	
抗結核薬	リファンピシン	リファジン, リマクタン	橙赤	本剤及び代謝物。
セフェム系抗生物質	セフジニル	セフゾン	赤(鉄存在下)	鉄添加製品との併用により、錯体を形成。
消化性潰瘍治療薬	クロロフィル	メサフィリン	濃緑	本剤の緑色素が便に排泄。
肝疾患治療薬	プロトポルフィリンナトリウム	プロルモン	黒	成分の酸化。

尿と便の色調変化は、薬剤の投与量、含有濃度や尿のpHにも影響されます。服薬量や体の状態により着色する場合と着色しない場合がでてきます。着色の大部分は、体の異常を示しているのではなく、薬の成分や代謝物が尿や便に排泄された結果であるため心配はいりませんが、患者には説明する必要があります。しかし、横紋筋融解症のように、筋肉の成分であるミオグロビンが尿中に流出して起こる尿の着色(赤褐色)は、体の内部状態の変化を示していますので注意が必要です。

参考文献：日本醫事日報(2004年)、各種添付文書  
(鹿児島市医師会病院薬剤部 中木原由佳)